

プレスリリース (仮訳)

2019年5月3日

東京、日本

監査監督機関国際フォーラムが、2019年4月30日－5月2日にギリシャで開催された年次総会にて、進化する監査の世界(The Evolving World of Audit)について議論

4月30日－5月2日、ギリシャ会計監査基準監督委員会(HAASOB)の主催により、当地において監査監督機関国際フォーラム(IFIAR)の2019年年次総会が開催された。

「監査監督をグローバルに強化し、投資家を含む公益に資するというIFIARのミッションを踏まえた上で、いくつかの国々で監査の未来と意義が議論されている現状に鑑み、『進化する監査の世界』がテーマに選定された」とIFIAR議長のブライアン・ハントは述べた。「年次総会は、メンバーがこれらの差し迫った課題へのアプローチについて理解を深め、共同で分析する絶好の機会である。」

総会は、監査業界及び監査監督当局が直面している現在の課題について、対応する各国当局の直接体験を踏まえた教訓や、各国で提案されている改革案の分析を含む事項を議論するパネルで始まった。この議論は、たとえこれらの国が直面する課題が全てのIFIARメンバー国に存在しているわけではなくても、得られた教訓は全ての国にとって価値があることを明らかにし、変化し続ける課題や機会に関する総会での更なる議論の方向性を明確に提示するものとなった。

また、監査人と監査当局に対する投資家の期待についての基調講演が、投資家フォーラムのコンサルタントを務める独立した投資専門家であり、英国における監査の品質と有効性に係るBrydon Review(ブライドン・レビュー)のメンバーでもあるポール・リー氏により行われた。

グローバルCEO

IFIARは監査品質を重視しており、IFIARと大手グローバル監査法人ネットワークとの定期的な対話が必要である。6大ネットワーク(BDO、デロイト、EY、グラントソントン、KPMG、PwC)のリーダーを年次総会に招き、IFIARメンバーと対話するとともに、グローバルな監査品質の向上に向けた現在の取組の詳細を聴取した。議論されたテーマには、監査法人のカルチャー(多様性を含む)、スタッフの採用・維持に関する課題、全ての利害関係者の取組を通じて縮められるべき監査に係る期待ギャップ、各ファームによる監査品質のモニタリングと測定、高品質な企業情報開示と監査を実現するための効果的な財務報告のエコシステム(循環構造)の必要性などが含まれた。

投資家その他利害関係者及び基準設定主体

投資家や監査委員会の代表者、その他の主な利害関係者により構成される投資家・その他利害関係者ワーキンググループのアドバイザーグループによるパネルディスカッションが行われた。同パネルでは、財務報告のエコシステムにおける監査委員会の役割に関する現在の見解が示された。

会合出席者は、IAASB(国際監査・保証基準審議会)の議長及びIESBA(国際会計士倫理基準審議会)の議長から、現在の活動や作業計画に係る説明を受けた。また、両者は、IFIARとの継続的な対話が実り多いものであること、意見募集にあたり、IFIARの基準調整ワーキンググループから有益なコメントを得ていることを強調した。

IFIARオフィサー及び代表理事国選挙

2019年年次総会をもって、IFIARで10年以上にわたり様々な役職を務めてきたブライアン・ハントIFIAR議長の任期が終了となった。IFIARは、ブライアンのリーダーシップとIFIARにおける役割に費やしてきた労力に感謝の意を表した。新たなIFIAR議長・副議長を選出するための選挙が行われ、フランク・シュナイダー氏(スイス・FAOA)が新議長に、ドゥエイン・デスパーティ氏(米・PCAOB)が副議長に選出された。

また、今回の年次総会においては、IFIAR代表理事会理事であるノルウェー(FSA)及び韓国(FSC/FSS)の任期が終了した。新たにブラジル(CVM)・台湾(FSC)・ギリシャ(HAASOB)・トルコ(CMB/POA)が4年の任期で代表理事国に選出され、アブダビ(ADAA)・豪(ASIC)・加(CPAB)・仏(H3C)・独(AOB)・日(CPAAOB/FSA)・蘭(AFM)・シンガポール(ACRA)・南ア(IRBA)・スイス(FAOA)・英(FRC)・米(PCAOB)と共に、代表理事会は16か国で構成されることになった。

IFIARについて

監査監督機関国際フォーラム(IFIAR)は、2006年に組織され、アフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの55の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。

監査品質の向上は、IFIARのミッションの中核に位置づけられる。我々の戦略は、世界中の監査に関連する事項に対し積極的に影響を及ぼし、また、監査品質と規制監督に関して国際的な対話を形成することである。

IFIARは、監査を取り巻く環境や監査法人に対する検査・執行実務、監査委員会とのやり取り、監査品質指標プログラム、監査法人のカルチャーレビュー及び全般的な監査市場から得られる実務的な経験や洞察について、情報交換を行うためのプラットフォームをメンバーに提供している。監査品質及び監査監督に影響を与えるこの集合知は、持続的で高品質な監査を推進していく上で必要不可欠である。同様に重要なこととして、IFIARは、大手監査法人のグローバルネットワーク、国際基準設定主体、監査委員会、機関投資家、その他監査品質に関心を有する国際機関と協調的で持続的な対話を行う唯一のフォーラムである。